

# おかちまち たいとう

台東区立御徒町台東中学校 学校だより  
第11号 令和3年2月24日(水)

校長 福沢 俊之  
Tel (03)3831-3787  
学校ホームページ



<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1320111>

## 立志のつどい式辞から

校長 福沢 俊之

2月6日(土)、「立志のつどい」を行いました。本来ならば多くの方々をお迎えして、2年生の代表生徒の「志」の発表を聞いていただく晴れがましい行事です。しかし、残念ながら、緊急事態宣言の発令によりご来賓の方々にも保護者の方々にもご案内をすることができませんでした。ただ、このような「コロナ禍」という逆境の最中にあるからこそ、これからの社会を支えていく生徒たちが自らの「志」を高く掲げそれを語ることは、きっと多くの人に希望を与えることにもつながるものと考えていました。多くの方にご覧いただくことができませんでしたが、当日、2年生は大変立派な態度で式に臨み、代表生徒の3名も堂々と発表をしてくれました。以下、当日の式辞の概要を掲載いたします。



十有三年  
逝者已如  
天荒地始  
人生有死  
安得類古  
千載列青  
史

「志」という言葉を聞くと、私は、江戸時代の学者である頼山陽の「述懐」という漢詩を思い出します。

十三年の年月が過ぎ、その歳月は流れる水のごとくもう戻ることはない。天地は永遠であり、始めも終わりもないが、人生には生もあり死もある。何としてでも歴史上の偉人と同じように千年後の歴史に名を連ねたいものだ。

頼山陽が13歳、今でいう中学1年生の正月に読んだといわれる漢詩で「立志の詩」と呼ばれているそうです。年の初め、若干13歳の少年が人生のはかなさを思い、命に限りあるからには、生きている間に歴史に名を残すだけの功績をあげたい、そのような大望を掲げた詩であるから、「立志の詩」と言われるのでしょう。

「志」とは、この詩のように、単に「目標」というだけでなく、背景にその人の決意、覚悟、心構えなどがあるように思います。そのような決意や覚悟、心構えは、実体験だけでなく、他者から見聞きしたことや本で読んだことなど、学んだことをもとに、どう考えたか、どう受け止めたか、どう乗り越えたのか、を通じて生まれてくるのではないかと考えます。

昨年末から3年生の面接練習をしています。その中で「将来、どのような仕事に就きたいですか」と質問をします。「まだ決まっていません。」という生徒もいますが、「〇〇になりたい。」と具体的に答える生徒もいます。例えば、「看護師になりたい。」という人に「どうして看護師になりたいと思ったのですか。」と尋ねると、それぞれの理由が返ってきます。さらに「今、コロナ禍において、看護師の方々は大変な苦勞をされていますが、どう思いますか。」や「今、看護師の方々、自分の家族よりも優先して、自分の命に関わるかもしれない状況下で仕事をされていますが、どう思いますか。」と尋ねると、「命」に対する自分の考えを語ったり、身近な人の死に接して感じたことを話したり、自分自身が入院をした経験を紹介したりしながら、「だから看護師になりたいのです。」と一生懸命答えてくれます。そうした3年生の回答を聞いてみると、1つの「目標」が「志」に変わっていくような感覚を覚えるのです。

発表してくれた3名の代表生徒以外の生徒も、それぞれが自分の「志」を文章に表し、学級でお互いの発表を聞きあいました。2年生には、今、自分の志すものを書き表した作文を大切にして、来年、3年生になって進路を考えるときにもう一度読み直してみたいと思っています。他の人と比べるのではなく、過去の自分と比べたとき、自分自身の変化を感じるのではないのでしょうか。その変化を、自分の成長であると自覚し、新たな志を立てて努力を重ねていくことを期待しています。

## 「立志のつどい」で2年生代表3人がこころざしを述べました。

江戸時代までは、武士や町人は14歳になると「元服」といい、名前や髪型が子どもから大人へと変わる行事が行われました。元服を済ますと一人前の大人として仕事に就いたり結婚することも許されました。大人になるためには「こころざしを立てる(立志)」ことが必要です。「こころざし」とは「心に決めた目標」や「信念(正しいと信じる自分の考え)」を言います。

中学2年生の今、こころざしを立てる＝「一人の人間としてどう生きるか」、「どんな人生の目標をもち、その目標に向けてどう努力していくか」を考え、決定し、努力を始める・・・そんな機会となる大切な行事となるのが7年前に始まった「立志のつどい」です。

\* 司会 (2組)、開会の言葉:(3組)、閉会の言葉:(1組)  
運営は2年生生徒で行われました。



## 立志の言葉

「私の夢」 (1組)

私には幼稚園の時からなりたいたいと思っている職業があります。それは幼稚園の先生です。理由は子どもがすごく好きということと、私が幼稚園児だった時の先生をととても尊敬しているからです。

「私の夢」 (2組)

私が小さい頃のビデオを観ていた時にパレードダンサーの役割がはっきり分かりました。ビデオには、パレードを観てニコニコしている私と自然と手拍子をしている家族が写っていました。私はそんな人を楽しませられるようなパレードダンサーになりたいです。

「目標への道」 (3組)

僕の目標は、父を超える料理人になることです。幼いころから父の働く姿に憧れて料理人になりたいと思っていました。

## 令和2年度「税についての作文」表彰者

令和2年度中学生の税についての作文表彰状を各学年集会で校長先生から渡して頂きました。

税についての作文は浅草納税貯蓄組合連合会と上野納税貯蓄組合連合会と台東区が主催し、作文を書くことを通して、税金の種類やその内容、税金の使われ方やその大切さ、国民としての納税義務などを学び、社会への仕組みに触れることを目的に行われています。

- ・東京上野税務署長賞、上野納税貯蓄組合連合会入選  
2年
- ・上野納税貯蓄組合連合会佳作  
2年 3年
- ・台東区教育委員会賞、上野納税貯蓄組合連合会入選  
3年
- ・東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞、上野納税貯蓄組合連合会特選  
3年

## 1階のドアが新しくなりました

今月、2週間にかけて1階東側非常口ドア、校庭に出る中央口ドア、西側ドア、実技棟ドアの4箇所のドアが新しくなりました。校舎内も明るくなったような気がします。

ドアの取り付け部分に指を挟んでしまう事故防止の為にプラスチックの板が付いています。90度以上無理に外へ開けてしまうと破損してしまう恐れがあるので、丁寧に開け閉めをお願いします。

